

東アジア研究の架橋

日中・日韓関係は悪化の一途を辿っている。
今こそ、学術研究の熱い討論が必要である。

午前の部 9:30~12:30 (使用言語:日本語)

東アジア研究交流会—韓国・漢陽大学の研究者を迎えて—

田金仙「秦氏と稚児舞の関連性について」

文永實「韓日の『七夕』説話の星に関する研究」

申俊珍「『曾根崎心中』に現れている心中の多様な意味様相」

池好順「無生物主語の『させてしまう』構文に対する研究」

賈威「現代中国における日本研究の現状とその流れ」

司会: 鄭夏美 (漢陽大学 BK21Plus 日本研究特性化事業, 代表)

午後の部 13:30~18:00 (使用言語:中国語、通訳あり)

中国現代史の再検討—中国・北京大学の研究者を迎えて—

報告

徐勇「二十世纪中国学术交汇中的军阀话语研究」

(二十世纪中国の学术交流における軍閥言説研究)

刘一卓「现代化进程与中国当代史研究」

(近代化のプロセスと中国現代史研究)

王元周「建国初期马克思主义史学家的史料观」

(建国初期におけるマルクス主義史学家的史料観)

通訳: 中村平、木村自、冨永悠介

コメント: 奥村哲 (首都大学東京)

司会: 石川亮太 (立命館大学)



2014年10月18日(土)

**立命館大学衣笠キャンパス内
創思館カンファレンスルーム**

アクセス

JR・近鉄京都駅より市バス 50 番、205 番か JR バス
高尾京北線に乗車後、「立命館大学前」下車 (約 35 分)

問い合わせ

imanishi.hana.pin@gmail.com (事務局: 森)



主催: 科学研究費助成事業「帝国日本の移動と動員」(代表: 今西一、大阪大学)

共催: 立命館大学国際言語文化研究所

科学研究費助成事業「台湾先住民の『民族』自治」(代表: 中村平、神戸女子大学)